

第10回

和漢薬研究所

夏期セミナー

主催：富山医科薬科大学 和漢薬研究所、21世紀COEプログラム

和漢薬入門講座

男と女の和漢薬 —性差医療を考える—

2005年

日時 | 8月24日(水) 13:00~ → 26日(金) 9:30

会場 | (株)インテック大山研修センター
富山市東黒牧140-1 (旧上新川郡大山町) ※富山駅から送迎あり

会費 | 学生20,000円、社会人25,000円
(会費には、宿泊費・食費・テキスト代を含みます)

対象 | 和漢薬に関心を持つ全国の薬学生、医学生、社会人

募集人数 | 60名

●お問い合わせ、お申し込み方法

下記連絡先に、E-Mailまたは往復はがきにて、参加ご希望の旨ご連絡ください。

連絡先 〒930-0194 富山市杉谷2630
国立大学法人富山医科薬科大学 和漢薬研究所 薬物代謝工学 夏期セミナー係
TEL 076(434)7630 FAX 076(434)5060
E-Mail kakisemi@ms.toyama-mpu.ac.jp
U R L <http://www.toyama-mpu.ac.jp/riw/kakisemi2005.html>

内 容

講 義

漢方医薬基礎講義

谿 忠人(和漢薬研究所 生薬製剤開発)

女性医療における漢方の役割について

渡邊賀子(慶應義塾大学・医学部 東洋医学)

和漢薬と性差医療

柴原直利(和漢薬研究所 漢方診断学)

Gender-specific Medicineから みた漢方医療

斎藤 滋(富山医科薬科大学・医学部 産科婦人科学)

乳癌リスクと植物エストロゲン

服部征雄(和漢薬研究所 薬物代謝工学)

性差医療における和漢薬の必要性:

女性のためのセルフメディケーション

高橋京子(大阪大学大学院・薬学研究科)

肥満症臨床から学ぶ:

漢方は現代日本女性の健康と美に貢献できる

日置智津子(国立病院機構・京都医療センター)

体 験 学 習

「気血水」診断法

柴原直利(和漢薬研究所 漢方診断学)

生薬方剤の鑑定

小松かつ子(和漢薬研究所 生薬資源科学)

桂枝茯苓丸をつくってみよう

小松かつ子(和漢薬研究所 生薬資源科学)

和 漢 薬 談 義

和漢薬談義 (1)

寺澤捷年(千葉大学大学院・医学研究院)

(富山医科薬科大学・和漢薬研究所 恒常性機能解析)

和漢薬談義 (2)

嶋田 豊(富山医科薬科大学・医学部 和漢診療学)